カトリック 福岡教区報

宮原良治司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　下町豊重
TEL　092-522-4059
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

神のしもべ、高山右近列福式

大阪城ホールに一万人集う

2月7日、大阪市中央区の大阪城ホールにて、ユスト高山右近の列福式ミサが、教皇代理のアンジェロ・アマート枢機卿（教皇庁列聖省長官）の主司式によって行われた。国内外から約1万人が集い、祝った。

右近の列福が宣言され、ミサが捧げられた

「神のしもべ、ユスト高山右近を私（教皇フランシスコ）の使徒的権威によって福者の列に加えます。」アマート枢機卿がラテン語の教皇書簡を朗読し、右近の列福を宣言。直後に鐘が鳴らされ、新しい福者の肖像画の除幕が行われた。会衆は「アレルヤ」と公式賛歌「主こそわが光―祈る右近―」を歌い喜びを表した。

列福式ミサは、正午、鐘がなり始まった。アマート枢機卿のほか、マニラ教区（フィリピン）のルイス・アントニオ・タグレ枢機卿、駐日教皇庁大使ジョセフ・チェノットゥ大司教、日本の司教団、韓国から6人、ベトナム、カンボジア、ルクセンブルクから1人ずつ計30人の司教と約3000人の司祭団が共同司式した。全国からの公募で編成された聖歌隊は約1000人。日本だけではなく世界の教会が右近の列福を共に祝った。列福式はYouTubeで同時中継され（現在もYouTubeで視聴できる。

www.youtube.com/watch?v=d96PSEkMqHo）

回心の祈り、あわれみの賛歌に続き、列福の儀に移った。岡田武雄大司教（東京教区）がアマート枢機卿に対し、ユスト高山右近の列福の請願を行った。続いて列聖申請者のアントン・ヴィットヴェル神父（イエズス会）が右近の略歴を紹介。それに応えるかたちで、教皇代理であるアマート枢機卿が右近の列福を宣言した。宣言の中で、右近の記念日が2月3日となることが発表された。右近の肖像画の除幕は会場のスクリーン上で行われた。引き続き、右近の聖遺物を収めた顕示台が祭壇の横に安置され、アマート枢機卿が献香し、崇敬を表した。岡田大司教が謝辞を述べ、同大司教はアマート枢機卿と抱擁し、列福を祝った。

ミサの説教でアマート枢機卿は右近の生涯に触れながら、右近が深い祈りによって主の望みを選んで歩んだこと、日本文化の中で福音的な生き方を追求したこと、具体的ないつくしみの業に励んだことなどを紹介。「私たちの福者の模範が、イエス・キリストの福音への信仰と信頼へと、私たちすべてを突き動かしますように。福者ユスト高山右近、私たちのために祈ってください」と説教を結んだ。（説教の全文はカトリック中央協議会のホームページで読むことができる。）

共同祈願や聖歌は英語、タガログ語（フィリピン）、ベトナム語、韓国語でも行われた。

高山右近は戦国時代、今の大阪府豊能町で生まれ、12歳で洗礼を受けた。21歳で高槻城主となり、キリシタン大名として生きた。1587年、豊臣秀吉のバテレン追放令により、棄教を拒んだ右近は大名の地位を失った。この時、右近は博多に滞在中で、能古島に一時逃れたとされている。88年には小西行長とともに南肥後（現在の熊本地方）に滞在したり、92年、肥前（現在の佐賀地方）名護屋城にて秀吉と謁見したりと、福岡教区内にも右近ゆかりの地がある。1614年、江戸幕府のキリシタン禁令発布により国外追放処分となり、右近一家は長崎からマニラへ。1615年、マニラ到着後40日ほどで熱病にかかり2月3日死去。

高山右近像（画・三牧樺ず子）

福岡より参加した女性信徒は「日本人として誇らしく思う。私も神様の御旨のままに生きる信仰を歩んで生きたいと思った」と語る。列福式ミサは「高山右近のように信仰を力強くあかしするために、行きましょう、主の平和のうちに」との言葉で結ばれた。

教皇様の意向のために祈りましょう

3月の意向

【福音宣教】迫害されているキリスト者たちへの支援

【日本の教会】原発事故の記憶を保つ

司祭叙階式

日　時：3月20日（月・祝）　11時から
場　所：カテドラル大名町教会
受階者：ペトロ　キム・ジョングン助祭
司式者：ドミニコ宮原良治司教
☆公共交通機関でお越しください

選任式・認定式のお知らせ

★ペトロ船津亮太　朗読奉仕者選任式
2017年3月5日（日）9時　久留米教会

★ヨハネ・マリア・ミカエル　古市匡史
助祭・司祭候補者認定式
2017年3月12日（日）9時　浄水通教会

聖香油ミサ

日　時：4月12日（受難の水曜日）15時
場　所：カテドラル大名町教会
司式者：ドミニコ宮原良治司教

◆ミサ後、今年司祭叙階50周年と25周年を迎える司祭のお祝いをいたします。
50周年　ルイ・ベリオン神父
25周年　中村彰神父
ジュード・ピリスプッレ神父

時の話題

司祭への道

「行く末を主に委ね、主に寄り頼め」（詩編37・5）。

司祭を目指し、日本へ来て8年が経ちました。叙階の恵みを頂くまで、長い時間がかかりました。時間がかかった分、叙階が本当に大きな恵みであるということを感じています。

その間、司祭叙階までの召命の道を歩みながら、私自身が忘れなかったのは、まさに、神に対する信頼でした。なぜなら、神の前では不足な者であり、弱い者ですので、全ての難しさを忍耐し克服するためには、神に対する信頼が何よりも重要な事ではないかと思ったのです。そして、神との信頼関係を通して謙遜な心と姿勢ですべてを委ねることは、司祭を目指して歩むためにとても大切なことだと思います。これが、私が召命の歩みの中で感じた霊的な喜びであり、司祭叙階を受けるにあたって感じている大きな喜びです。

まもなく、新しい司祭として生活していくことになりますが、初心を忘れずに祈りと奉仕の心を持って、司祭職の務めを果たしていきたいです。そして、いつも謙遜であり、祈る司祭でありたいと思います。また、聖霊の導きに自らを委ねながら、イエス様を中心とした交わりを大切にし、奉仕し、広げていきたいと願っています。

神様からいただく司祭としての使命を最後まで忠実に全うすることができますように、これからもお祈りをよろしくお願いいたします。私も皆様の上に主の恵みが豊かに注がれるよう祈っております。

神に感謝。アーメン！

キム・ジョングン助祭

教区のこれからを考える 司祭評議会

2月9日、宮原良治司教と司祭評議員が集まり、司祭評議会が司教館にて行われた。冒頭、宮原司教は「ユスト高山右近の列福式に参列し、日本の教会の信仰に大いなる刺激がもたされたことを感じた。教区民も福者に倣いながら、頂いている使徒職に励むことができるようにしよう」と述べ、司祭団を鼓舞した。

今回の議題として下記の5つが挙げられた。

1、教区年間目標「いつくしみから踏み出す第一歩」の具体化＝これからの課題として各地区、各小教区の取り組みをしていくこと。目標を掲げ、もうすでに歩み出している小教区もある。取り組みの中に、貧しい人達・病気や諸事情で教会に来れない人達・独居老人・高齢者・青少年・教会から遠のいている人達・外国人信者のことを忘れず、関わっていくようにすることの大切さなどが話された。

2、今年6月に行われる司祭研修会＝福者ユスト高山右近についてや教皇の使徒的書簡『ミゼリコルディア・エト・ミゼラ』（あわれみある方とあわれな女）より「新しい福音宣教」について話を聞きたい。テーマや講師については教区本部に一任する。

3、司祭評議会規約の改定＝現行の評議員の選出の仕方や任期についての改定が討議され、司教に諮問された。

4、司祭総会を受けて＝年間行事予定の中で、ドミニコ宮原良治司教の霊名の祝いを司教ご自身が自粛されることになり、公には祝われないことになった。また、邦人司祭集会は一日のみとなる。

5、その他＝美野島司牧センターの現況と建て替えに関しての話があり、お知らせと募金をお願いしたいとのこと。更に、熊本地震の今後の対応について話があった。支援金受付は今年の3月31日で終了するが、支援活動は教区支援として「支援の『わ』」に協力する形で続けられる。また、「貧しい共働体」からお知らせが紹介された。

みちくさ

四旬節には私達の捧げものである「祈り・犠牲・愛徳」を大事に考える。これは、やがてやってくる「主の復活」に向けてのものである。イエス様は洗礼を受けた後40日間、「試練」の中にあった。人類の救いを御父と共に考え、試練に耐えながら過ごしていかれた。そして、救いの福音を3年にわたって伝えていかれた。ついには、十字架の刑にあって、預言されていた救いを成就されたのである。それが明らかになったのは、イエス様の「復活」であった。この栄光の復活の喜びに与るために、私達も「祈り・犠牲・愛徳」を捧げていくのである。考えてみれば、何事も成功するためには、何らかの犠牲がなければならない。努力も必要になる。祈りも大切。イエス様は人類を救うためにこのような必要なすべてを果たしていかれた。ご自分の「神であるという身分」もかなぐり捨ててまで（…このことが一番の犠牲だったのではないだろうか）。それに応えて、父なる神様はイエス様を復活の栄光へと上げてくださり、キリスト（救い主）の称号を与えてくださったのである。最低の死の暗闇（悪の世界）から最高の復活の世界（神の世界）へ移行されたイエス様は、私達にも「死んで復活すること」を望んでおられる。そのための道も教えてくださった。必要な手段も恵みも与えてくださっている。私達はこれらのことを考えながら、私達にできることをしながら、主の復活の喜びに与ることにしよう。祈っていますか？犠牲を捧げていますか？愛の行いをしていますか？（S）

福音と平和の集い
人々の中にある福音

基調講演を行うSr.マリア・コラレス

教区信徒使徒職協議会主催、社会福音ネットワーク・福岡の企画・運営の研修会が昨年に続き、2月11日（土）にカテドラル大名町教会で行われた。降雪にもかかわらず約200人が集った。

午前中はSr.マリア・コラレスの基調講演に耳を傾けた。「いのちを大切にする社会をめざして」と題されたこの集会の基調講演で「にしなり」のシスターとして知られるマリア・コラレス（聖母被昇天修道会）は大阪の釜ヶ崎の野宿者や日雇労働者の支援、滞在外国人の人権擁護などに長年奔走され、その体験と出会いから、「福音を説明するのではなく、人々の中にある福音を生きる大切さ」を時に聖書を開き熱く語った。

午後は「憲法」、「玄海原発」、「障害者」、「子どもの貧困」、「死刑廃止」、「外国籍・移住労働者」、「Sr.マリア・コラレスを囲んで」の7つの分科会で学びと分かち合いの時を持った。

その後、青木悟神父と参加司祭の共同司式でミサが行われた。説教で森山信三神父（久留米教会）は、「洗礼により神、イエス・キリストと契約を交わした私たちは神をよく知り、また、病人、貧しい、社会的に小さくされた人をも愛されたイエス・キリストのように生きなければならない。ミサと祈りが大切。その中から日々をイエス・キリストのように生きるための糧として汲み取るのである。聖書にあるように、神がアダムに『あなたはどこにいるのか？』、イブに『あなたは何をしたのか？』と問われたように、『平和（シャローム）実現のために、私が愛する小さくされた人の近くにいたのか？何をしてくれたのか？』と審判の日に問われることになる。これは今も問われていることであることを認識し、イエス・キリストのように生きよう」と話した。共同祈願は各分科会担当者の各々のテーマに沿ったものであった。

聖体拝領後に教区信徒使徒職協議会会長の稲葉人志氏（鳥栖教会）が、「この集いが本年の教区目標の『いつくしみから踏み出す第一歩』のひとつの歩みとなりますように願います」と挨拶し、参加・協力へのお礼の言葉を述べた。最後に司祭団の派遣の祝福を受けて集いを終えた。

（報告＝野見山素直）

分科会の様子

高山右近列福感謝ミサ
現代を生きる信徒の模範

カテドラル大名町教会で捧げられた感謝ミサ

2月7日、大阪にて、ユスト高山右近が福者の列に加えられた（1面参照）。これに感謝を捧げるミサが、カテドラル大名町教会にて、2月14日に行われた。宮原良治司教が主司式で15人の司祭が共同司式し、約120人が集った。

宮原司教はミサの初めに、「高山右近は日本の教会に、神さまから与えられた大きな宝物だと思います。特に、信徒の使徒職がどうあるべきか、その素晴らしい模範を私たちに示してくださっています」と述べ、この現代社会の中で、また家庭の中で信徒使徒職の模範となるような人が生まれるよう、福者右近の取次ぎを願いながらミサを捧げるよう会衆を招いた。

説教では、1人の信徒として、神に忠誠を誓って生きた右近の姿を紹介。家庭人として、社会人として生きる現代の信徒も右近を模範とし「社会の中に恐れないで切り込んでいってほしい」と信者らを励ました。また、右近と同時代を生きたキリシタン大名たちの絆を例にとって、信仰を生きていくには、神との個人的な関係の深まりと共に、仲間との連帯・団結が不可欠であると説いた。

感謝ミサに参加した信徒は、「右近は置かれた境遇から逃げずに、そこに神からの使命があることを確信していったのだと思います。そして、神の選びをしていった。私も信徒としてそのように歩んでいけるよう、右近の取次ぎを願いたいです」と語った。

「ありがとう神さま、たくさんのお恵みを。ありがとう神さま、たくさんの喜びを」との閉祭の歌をもって、会衆は派遣された。

熊本地震被災地支援
3月末をもって支援金受付終了

2016年4月14日・16日の熊本地震発生以来、国内外の教区、教会、団体、個人から物心両面の多くの支援が寄せられてきた。地震直後からカトリック福岡司教区が受け付けていた熊本地震支援金の受付を2017年3月31日をもって終了することが決定された。

寄せられた支援金は2017年1月31日現在で184,796,786円となっている。その中から被災教会への支援として36,461,016円、被災信徒への義援金として66,158,146円、被災した学校・施設への支援として33,011,232円が支出された。今後の予定として、被災教会・施設の修復のために約3千万円が計上されている。残りの約2千万円については、今後も現地の要請を受け止めて対応していく。

被災地のことは、時間の経過とともに次第に風化していく感があるが、未だに地震発生直後のままで片付けも出来ない被災者も大勢いる。カリタス福岡・熊本支援センターは施設としては2016年9月末をもって閉鎖したが、支援活動は教区支援として「支援の『わ』」に協力する形で続けられることになった。詳細については各小教区に文書とチラシが配布されている。

性虐待被害者のための祈りと償いの日

教皇フランシスコは、全世界の司教団に向けて「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けるように通達、日本ではこの日を「四旬節・第二金曜日」とすることが決定された。

第1回目は2017年3月17日（金）となる。宮原良治司教は各小教区やグループ、個人で祈りを捧げてほしいと呼びかけている。

日本カトリック司教団は、臨時司教総会の中で2016年12月14日、「性虐待被害者のための祈りと償いの日」の設定にあたってのメッセージを発表している。（メッセージはカトリック中央協議会のホームページで読むことができる。）また、日本カトリック司教団は定例司教総会中の2月21日に全員心を合わせてそのためのミサ聖祭を捧げた。

福岡教区人事異動

（）内は前任地など　順不同

【2017年2月6日付　2月12日着任】

◆中村信哉師（唐津教会主任）呼子教会管理者兼任

◆アルビン・ドゥゴシュ師（馬渡島教会主任）松島巡回教会協働兼任

〈教区外へ〉

◆堤好治師（長崎教区）（呼子教会主任）

【2017年2月21日付　4月2日着任】

◆森山信三師（久留米教会主任）福岡コレジオ院長

◆宮崎保司師（神言修道会）久留米教会主任

◆井手公平師（大牟田教会主任）行橋教会主任

◆田中重治師（大楠教会主任、高宮カトリック幼稚園園長）大牟田教会主任、天使幼稚園園長

◆谷口尚志師（福岡コレジオ副院長）大楠教会主任、高宮カトリック幼稚園園長

◆ダニロ・マルケット師（聖ザベリオ宣教会）（サバティカル）帯山教会主任

◆レナト・フィリッピニ師（聖ザベリオ宣教会）（教区外）玉名・荒尾教会主任

◆江夏国彦師（フランシスコ会）（教区外）戸畑・若松教会主任、戸畑天使園園長

◆イ・スンヒョン師（小倉・門司教会協働）大江・崎津・本渡教会協働

◆イム・ドンビン師（コンベンツアル聖フランシスコ修道会）（大名町教会協力、西新カトリック幼稚園実習）小倉・門司教会協働

◆シン・カンス師（ソウル教区）（教区外）大名町教会協働

◆マイケル・ヒルデン師（聖アウグスチノ修道会）（教区外）笹丘教会協働、笹丘カトリック幼稚園園長

◆東研師（聖ザベリオ宣教会）（教区外）島崎教会協力

〈引退〉

◆ルイ・ベリオン師（パリ外国宣教会）（行橋教会主任）

〈教区外へ〉

◆今田昌樹師（聖アウグスチノ修道会）（笹丘教会協働、笹丘カトリック幼稚園園長）

◆山村憲一師（長崎教区）（福岡コレジオ院長）

◆中尾直通師（長崎教区）（伊万里トラピスチヌ修道院付）

◆オディロン金一師（神言修道会）（戸畑・若松教会主任）

◆オロッコ・フェリペ・デヘスス・ロペス師（聖ザベリオ宣教会）（玉名・荒尾教会主任）

◆ロッコ・ヴィヴィアノ師（聖ザベリオ宣教会）（真命山・諸宗教対話センター副院長）

◆百村等師（聖パウロ修道会）（福岡修道院）

訃報

加藤正子修道女（幼きイエス会）

1926年生まれ。58年に初誓願、63年に終生誓願。1月28日に帰天。享年90歳。

渡邉千枝子修道女（ショファイユの幼きイエズス修道会）

1926年生まれ。2月2日に帰天。享年90歳。

【奉献生活者のための黙想会】
期　日：①5月8日（月）17時半～15日（月）9時　②6月18日（日）17時半～27日（火）9時
③7月3日（月）17時半～10日（月）9時
指導者：①②来住英俊 神父（御受難修道会）　③染野治雄 神父（御受難修道会）
費　用：65,000円（税込・宿泊・食事・指導料含む）
◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで　◆詳細はお問合せください
◆3月の月例黙想会も募集中です
カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222（9:30～16:30）
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com
PRAYER GROVE MUNAKATA

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
ＴＥＬ 092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

福岡教区　美野島司牧センター

建替えの資金協力呼びかける

教皇フランシスコは「教会は現場の病院のようにならなければならない」と繰り返し述べ、教会が傷を癒す場所であることを望んでいる。福岡教区にあって美野島司牧センター（福岡市博多区）は貧しい人、苦しんでいる人々と共に歩み支える活動拠点となってきた。開設され23年。ホームレス支援、外国籍住民の支援、薬物依存者支援などの活動が行われている。

美野島司牧センターは建築されてから60年以上が経ち、建物の老朽化が激しくなったため、福岡教区はセンターの建替えを決定した。2017年3月～12月の予定で建替え工事が行われる。

建替えにあたり、福岡教区長の宮原良治司教は各小教区に手紙を送り、美野島司牧センターの活動を教区民一丸となって支えてほしいと献金と祈りによる協力を呼びかけている。

美野島司牧センターの活動の詳細は各小教区に配布されている「美野島司牧センターニュースNo.23」（2016年12月発行）に紹介されている。また、センターのホームページwww.pastorama.comで見ることができる。

美野島司牧センター建設募金送付先

郵便振替：０１７６０－６－２０７２９

加入者名：カトリック福岡司教区

★通信欄に「美野島司牧センター建設募金」とお書きください

活動・支援に関する問合せ先：

美野島司牧センター　☎０９２・４３１・１４１９

スープの会

凍える方々に温かいものを

炊き出しと夜回りの様子

「もしあなたが、今晩から家に帰ることができず、外で過ごさなければならないとしたら。私たちの人生にそんなことが起こるなど、想像もできないと思っていませんか。しかし、どんなに真面目に生きていても、そういう境遇に置かれる場合があります。」

スープの会の活動は、路上での生活を余儀なくされている方々に寄り添うため、1980年代の半ば、世の中がバブル景気に踊っていた頃に大名町教会で始まった。その後、美野島司牧センターを拠点とする「NPO法人福岡おにぎりの会」と協働しながら、毎年2月と3月の6回の金曜日に炊き出しと夜回りを担っている。

昼の豚汁・ゆでたまご作りは、主に福岡地区の女性の会の方が笑顔で行っている。夜間の配布パトロールには、カトリック教会内外から多くの人が参加している。プロテスタント教会信徒、仏教徒、イスラム教徒、学生、福祉関係、インターネットなどで知り参加したという人。凍える方々に温かいものを届けたいという同じ思いで、皆心を合わせて働いている。また、協働グループである「おにぎりの会」は、通年毎月第1金曜日に、炊き出し・夜回りを続けているが、今年は拠点である美野島司牧センターの建て替えのため、11月までは大名町教会で行うことにしている。スープの会もこれを助ける形で活動していく。皆さんの参加・協力をお願いしたい。

（報告＝前田由樹）

典礼聖歌研修会

神のことばの豊かさ

『第二バチカン公会議』典礼刷新後の典礼聖歌を学ぶためにこの会は始まった。年に3回の研修会には福岡教区各地区から典礼担当者、聖歌・典礼に関心ある方々が集まっている。

2月4日（土）、この研修会発祥の地である大楠教会で、25周年記念一日研修会が行なわれた。熊本震災後、参加の途絶えていた熊本地区、今回山鹿教会と菊池教会からの参加は大きな喜びとなった。

この日は「四旬節・聖週間・復活節」の典礼聖歌は勿論のこと、教会・典礼の歴史、神のことばの豊かさ、ミサの大切さが教授された。歌が祈りとなるように導かれ、いつものように希望に満たされ、一同、神に向かう民となった。

研修会後、研修会設立当初から25年の長きにわたって指導していただいている深堀純氏（大名町教会信徒）に感謝の気持ちとして花束、祝福のしるしとされるオリーブの枝の冠、シスター手作りのメダイが贈られた。

時代と教会に思いを馳せ、教わり、励まされることの多いこの研修の場が、いつまでも続くよう強く願った節目の一日でもあった。

（報告＝松山敦子）

ボランティア交流会

一人ひとりの顔が浮かぶ奉仕

2月18日、福岡地区女性の会は大名町教会においてボランティア交流会を開催した（同会は「栄光病院・篠栗荘・富の里」の3施設で奉仕活動を行っている）。交流会では、奉仕活動に同行していただいたベルナルド神父（吉塚教会主任）の話にうなずきながらも大笑いし、スープの会の代表飛永薫氏の美野島司牧センターの活動紹介に真剣に聞き入った。

施設での活動報告をした一人は、「病院での奉仕でビニール袋たたみやお茶の葉をティーバッグに入れる作業に、まるで流れ作業の仕事のように感じ悩みました。それは相手の方の顔が見えない奉仕のためなのか、奉仕という形に自己満足の何かを求めているからなのか、と深く考えました。後に、奉仕の先に入院されている一人ひとりの顔が浮かび、ありがとうの言葉は私達から病院の方々へ送るものだと改めて気付かされました」と話していた。

午後からのリラックスタイムの後、ミサが行われ、担当司祭のオチョア神父（イエズス会）は説教で、「私達の働きが召命を生きることになる」と参加者を励ました。

（報告＝角田茂子）

福岡地区青年黙想会

「ゆるし」をテーマに集う

グループに分かれて分かち合う青年たち

福岡地区青年会主催の青年の為の黙想会が2月18日（土）、19日（日）の一泊二日、古賀教会で行われた。約15人の青年、修道者、神学生が集った。夕食時にはフィリピン人の技能実習生や日本福音ルーテル教会の青年も加わり30人ほどになった。

今回指導にあたったのはジュード・ピリスプッレ神父（オブレート会・古賀教会主任）と森山信三神父（久留米教会主任）。「ゆるし」をテーマに講話を行った。

ジュード神父は、まず「自分を深める」ことを手助けするワークシートを利用して黙想会をスタート。また、他者や神との関係を見つめながら、「ゆるし」について説いた。「罪とは何ですか？」「どうして私にはゆるしが必要ですか？」に関する解説がスライドショーを用いて行われた。

森山神父は「神さまがあなたのもとに留まりたいと望んでいる」と話し、「私たちの生涯はゆるされている者であることを絶えず体験していく課程」であると語った。

グループに分かれての分かち合いでは、青年たちの様々な思いが分かち合われた。「人とつながっていたいけど、自信や勇気がもてない。でも、努力していきたい」「神さまからのゆるしが先にあるということが新鮮だった」「ゆるしについて、まだモヤモヤする感じが残るけれども、日々の生活の中で振り返りながら深めていきたい」などの声が聞かれた。

夜にはテゼの祈りが行われ、共に主を賛美しながら、それぞれの黙想を深めた。

BOOK 読みは専科

☆高山右近－歴史・人物ガイドー　その霊性をたどる旅

血で血を洗うような戦国時代、生涯カトリックの信仰を貫き晩年は国外追放されたひとりのキリシタン大名、高山右近。その人生と信仰の歩みをたどる旅に、ご一緒に出かけませんか。ゆかりの地の写真等満載、オールカラーのガイドブックです。

ドン・ボスコ社発行
価格１０００円＋税

◇　◇　◇

☆使徒的書簡　あわれみあるかたと、あわれな女

いつくしみの特別聖年の閉幕にあたり公布された使徒的書簡。聖年が閉じられた今も、「あらゆる他者にいつくしみをもたらす者であるように」との招きにこたえていくよう促す。いつくしみから踏み出す一歩を。

カトリック中央協議会発行
税込価格１３５円

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL ０９２－７６１－８８００
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山7-91　TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・ＲＣ工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社　森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

本との出会い　人との出会い　神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会１Ｆ
平日／AM １０時～ PM ５時40分
日・祝日／AM １１時～ PM ４時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588　FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標　**いつくしみから踏み出す第一歩**

美野島司牧センターより

美野島司牧センターの解体・建替え（2017年3月～12月予定）に伴い、下記の通りお知らせ申し上げます。

★美野島司牧センター事務所移転
2017年3月より教区本部事務局2階（福岡市中央区浄水通）に移転します。電話番号・FAX番号に変更はありません。
TEL 092・431・1419 / FAX 092・431・5709

★スペイン語のミサ（日曜日）の場所・時間の変更
場所：浄水通教会　時間：14時より

★センター長のマルセル神父は「司祭の家」（福岡市中央区浄水通）に居住

★建替えに伴い、保管場所がなくなりますので、援助物資の受入れを一時中断させて頂きます。再開の際には改めてお知らせします。

皆様のご支援とご協力に感謝いたします。
（本紙3面に関連記事）

カテドラル大名町教会より

大名町教会は現在、外壁改修工事のため駐車場・出入口共に狭くなり駐車できません。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

2017スープの会 ホームレス支援　越冬炊き出し

みなさん、ご参加ください。献品・献金もお願いします。
2月から3月の3週目まで毎金曜日（3月2週目休み）

【調理ボランティア】
14時～大名町教会　1階厨房
【配布ボランティア】
20時集合　大名町教会1階講堂
【献品】
防寒着・毛布・靴下・カイロ・ラップ・アルミホイル・葛根湯風邪薬
【問合せ】
飛永薫　☎080・4317・4152

また、美野島司牧センターの建替えに伴い、4月から11月の第1金曜日には、大名町教会においてNPO福岡おにぎりの会と協働で炊き出しを行います。

講演会　忘れていませんか？「福島の今、6年目の現実」

日　時：3月18日（土）13時～15時30分
場　所：カトリック大名町教会　1階講堂
講　師：Sr. 畠中千秋
（聖心会・カリタス南相馬ベース長）
主　催：福岡教区震災被災者支援室内
福島家族支援実行委員会「博多にきんしゃ～い」
問合せ：目良 ☎080・8392・7394
★11時半からバザー・喫茶コーナーも開催されています。

2017年福岡教区第52回クルシリヨ

テーマ：私たちカトリック信徒の使命とは
日　時：5月4日（木）10時～6日（土）15時
場　所：福岡黙想の家（宗像市名残1056-1）
参加費：16,000円（全宿泊費、食費含む）
問合せ：徳永哲　TEL / FAX 093・592・0316

カトリック中央協議会のホームページがリニューアルされました。
https://www.cbcj.catholic.jp/

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板　会合と催し　3月のこよみ

福岡黙想の家ご案内　3月

4日（土）　ロザリオの会（黙想と祈り）10時～15時（指導：内山神父）
11日（土）～12日（日）　月例黙想会（募集中）
27日（月）～30日（木）　九州説教セミナー（空室あり）
【4月】
1日（土）　ロザリオの会（黙想と祈り）10時～15時（指導：内山神父）
3日（月）～ 7日（金）　オブレート会（空室0）
8日（土）～ 9日（日）　月例黙想会（募集中）
※ただいま、ホームページ休止中です。
直接お電話またはメールでお問合せください。
＊宗像市名残1056-1　☎0940・32・3222　FAX 0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：山上の教え
日　　時：3月9日（木）10時～15時
内　　容：柔和な人々は、幸せである…　マタイ5・4
指 導 者：ロッコ神父（真命山副院長）
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
次　　回：4月20日（木）悲しむ人々は…　マタイ5・5
☎0968・85・3100　FAX 0968・85・3186
玉名郡和水町蛸浦1391-7・E-mail　shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日　時：3月4日、25日、4月8日
10時～11時45分
場　所：カトリック大名町教会小聖堂

1日（水）	灰の水曜日（大斎・小斎）　四旬節愛の献金
2日（木）	（学法）幼稚園理事会
3日（金）	初金ミサ・サーリスの集い
4日（土）	†E.グリフィン（2014年 手取教会）
5日（日）	四旬節第1主日 船津神学生朗読奉仕者選任式（久留米教会）
6日（月）	聖ヨゼフ幼稚園起工式
7日（火）	司教顧問会　（宗法）幼稚園園長会 †ミカエル平田寛（2002年 門司教会）
9日（木）	常任司教委員会　†W.カリー（2012年 手取教会）
11日（土）	大槌ベース・震災追悼ミサ †L.グリッフィス（2013年 菊池教会）
12日（日）	四旬節第2主日　レジオマリエ・アチエス ミサ 古市神学生助祭司祭候補者認定式（浄水通教会）
13日（月）	†M.ラバルタ（2015年 天神町教会）
16日（木）	教会行政法制委員会
17日（金）	久留米信愛女学院短期大学卒業式 性虐待被害者のための祈りと償いの日
19日（日）	四旬節第3主日
20日（月）	聖ヨセフ　**キム・ジョングン助祭 司祭叙階式**
25日（土）	神のお告げ
26日（日）	四旬節第4主日
30日（木）	†V.チェリッザ（2005年 唐津教会）
31日（金）	（宗法）カトリック幼稚園新任教職員辞令交付式、研修会
【4月】	
1日（土）	†J.クレハン（2008年 荒尾教会）
2日（日）	四旬節第5主日
3日（月）	†A.アレグリーニ（2006年 ロザリオの園）
4日（火）	†ペトロ黒川博（2002年 大牟田教会）
6日（木）	常任司教委員会
7日（金）	初金ミサ・サーリスの集い

■ゴチックは司教日程

◆福岡

■聖霊による刷新福岡祈りの集い〔日時〕毎週月曜11時～12時半〔場所〕大名町教会1階〔内容〕賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い〔問合せ先〕☎092・521・2503蓮尾

■聖ドミニコ信徒会集会〔日時〕3月4・18日（土）14時～16時〔場所〕箱崎教会〔内容〕ミサ・聖ドミニコについてのお話〔問合せ先〕☎092・651・3867箱崎教会

■聖書に集う会〔日時〕3月8日（水）14時～15時半〔場所〕サンパウロ福岡宣教センター3階ホール〔問合せ先〕☎090・2305・5191 Br.阿部（パウロ会）

■祈りの集い・勉強会〔日時〕3月11日（土）14時から〔場所〕聖パウロ修道会福岡修道院〔指導〕永富久雄神父（聖パウロ修道会）〔問合せ先〕☎092・541・3730松山

■震災のための祈りのリレー〔日時〕3月11日（土）ミサ7時から・夕の祈り（テゼの祈り）16時から〔場所〕礼拝会福岡修道院〔問合せ先〕☎090・2305・5191 Br.阿部（パウロ会）

■福岡ホスピスの会「勉強会」とがん哲学外来「ぬくみカフェ」〔日時〕3月12日（日）13時半～16時半〔場所〕大名町教会4階会議室〔内容〕「がん」を通して人生を語る会。当事者・家族・友人・その他どなたでも参加可。25人限定（要申込）〔参加費〕会員・一般500円〔問合せ先〕☎090・1162・6395柴田

■レジオマリエ・アチエス〔日時〕3月12日（日）13時から〔場所〕高宮教会〔問合せ〕☎090・5936・3831今野

■虹の会（子どもをなくした親の会）〔日時〕3月18日（土）14時～16時半〔場所〕大名町教会3階会議室〔参加費〕600円（茶菓子代）〔問合せ先〕☎090・1162・6395柴田

■スピリチュアルケア講座〔日時〕3月18日（土）9時半～17時〔場所〕久留米シティプラザ〔講師〕W・キッペス神父（費用）3000円（申込・問合せ先）☎090・9568・0076野川※要申込み3月6日〆切

■カルメル在世会集会〔日時〕3月20日（月）10時半から〔場所〕福岡女子カルメル会修道院・テレサの家〔内容〕ミサ・講話〔指導〕中川博道神父（カルメル会）〔問合せ先〕☎095・828・2350鵜池

■グレゴリオ聖歌を歌う会〔日時〕3月21日（火）11時から〔場所〕聖クララ寮〔内容〕四旬節のグレゴリオ聖歌ミサ〔問合せ先〕☎096・380・5686堺

■ラスキン黙想と祈りの集い〔日時〕3月31日（金）19時45分から〔場所〕大名町教会小聖堂〔問合せ先〕☎090・2305・5191 Br.阿部（パウロ会）

■美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます！建替中も活動は続きます◆ホームレスの方に手作りお昼ごはん　毎週火曜日10時30分　吉塚教会◆越冬期ホームレス支援夜回り3月3日・17日金曜日20時大名町教会（スープの会と協働）◆路上からアパートに入居した方を訪問　第3土曜日13時　美野島司牧センター工事事務所〔問合せ先〕☎092・431・1419M・コース神父

◆北九州

■北九州召命を共に祈る会〔日時〕3月9日（木）14時から〔場所〕小倉教会〔内容〕ミサと茶話会〔問合せ先〕☎090・2499・9905藤井

■小倉祈りの集い〔日時〕3月24日（金）13時半～15時〔場所〕小倉教会信徒会館2階〔指導〕牧山勝美神父〔内容〕みことばを味わう・賛美と感謝の祈り〔問合せ先〕☎090・3985・5209松田

◆佐賀

■佐賀祈りの集い〔日時〕3月10日（金）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔問合せ先〕☎0952・30・8347吉武

◆熊本

■日本カトリック看護協会福岡支部例会〔日時〕3月26日（日）14時から〔場所〕幼きイエズス修道会内坪井修道院〔内容〕ジョンソン神父の講話と分かち合い〔問合せ先〕☎080・7988・6995牧山

編集後記

「くつがちいさくなったので、あたらしいのをかってもらった」と得意げに話す子どもも、もうすぐ新しい生活に入っていく。体も心も大きく豊かにされて別の場所に移っていく人達みんなに神様の導きと照らしを、そして希望と勇気を願いたい。明日に向かって進め！

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリードホール
薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店　福岡メモリード 検索
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院　総合周産期医療センター
地域医療支援病院　がん診療連携拠点病院
救命救急センター　地域災害拠点病院
＊入院基本料（一般病棟7:1）
一緒に働きませんか？ ＝募集＝ 医師・看護師・医療技術職
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
受付時間　平日：9:30～12:00 / 14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間　いつでもどうぞ！
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために・・・
サンパウロ福岡宣教センター
10：00～18：00（月～土）/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分＊駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26　☎092-721-2032 fax.739-3930